第2回 みんなで作ろうジゲの味
～昔ながらの「ジゲの味」を継承しよう～

古くから、岩美町内の地域や家庭及び民宿等に伝わっている、昔懐かしい「ジゲの味」をみんなで作ってみませんか！

近年は食生活が豊かになり、健康食と言われた日本食が薄らいでいます。

また、輸入食材の不安や偽装問題等で食材に対する関心が高まって来ました。

そこで、安心で安全な“昔ながらの「ジゲの味」を継承しよう”という意味で、地元女性部の方々に指導を受けながら「みんなで作ろうジゲの味(Ⅱ)」を下記日程にて開催します。

日　時　２月28日（土）午前10時～午後２時
場　所　蒲生地区「一寸法師の館」
参　加　20名 【年齢性別問わず】若年層大歓迎！《先着順です》
　　○グループで募集も可能です。
内　容　料理教室形式 （グループに分けます）
　　○食材は春先の農水産物
　　○１グループで２品目程度を予定
参加費　一人1,000円 （土産品付きです！）
申　込　２月12日（木）までに岩美町商工会 ☎72-0588へ
　　（住所・お名前・電話番号をお知らせください）
その他　エプロン･三角キン･包丁(使い慣れた)は各自持参してください
主　催　岩美町商工会「特産品・観光・まちづくり委員会」

【参考】
第１回（H19年12月１日）の料理より抜粋

カニ汁

カレイの野菜あんかけ

人権問題学習シリーズ 58

【地域住民の思いをつなげる】

去る11月、全国人権･同和教育研究大会（奈良大会）が開催され、岩美町より19名が参加しました。

２日間の大会日程のうち、半日が全体会、一日半が分科会でした。

分科会の中で、地元奈良県・大淀町の発表がありました。内容は「住民一人一人が支え合う住み良い地域づくり」についてでした。これは「地域別人権懇談会」で自分たちの生活の中における人権課題（行事、因習も含めて）を出し合い、それらの課題について住民運動として取り組んだことでした。

具体的な住民運動として､日常生活の中での「高齢者のみなさんへの声かけ運動」、地域行事に当たって「高齢者など多数が参加できるように交通の便を図る運動」、地域自治について「地域役員（葬儀役員等）への女性の登用」、地域生活や行事について「女性の意見の尊重」などが紹介されました。

最後に､「人権確立は他人任せでなされるものではありません｡住民一人一人が自分を大切に思い、同時に周りの人も大切に思い、住民同士がつながりながら取り組む自主的な運動こそが『人権のまち』をつくる原動力になります。こんな運動が『汗をかく人権運動』です。」と結ばれました。

岩美町を振り返ってみますと、町内各地区において、地域生活の向上を目指してさまざまな内容の取り組みが行われています。自分たちの生活を作り出すのは最後には自分たちだと思います。本町にも住民が心をつなげ合ってお互いを大切にし合う活動がますます進んでいけば素晴らしいと思います。

私の住む地域(小田地区)でも､農業における「集落内の助け合い」､多くの人が行事に参加し交流を深めるために「声のかけ合い」、町営バス存続のための「町営バスの利用を心掛ける」などの取り組みが始まりました。住民全員が思いを一つにしながら取り組みが進んでいけばと願います。

（人権教育推進員）